



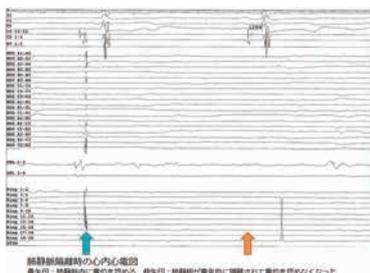
## 心房細動とアブレーション治療について

循環器内科 医長 高橋 怜嗣



心房細動は日常診療で最も遭遇する可能性の高い不整脈です。高齢になるにつれ有病率も高くなり(70歳台:2%、80歳以上:3%)<sup>1)</sup>、高齢化が進む地域ではさらに診療する機会が増加してきます。心房細動は罹患初期の段階では上室性期外収縮のように心房からの異常発火によって起こります。異常発火の80%程度は肺静脈から起こり、350-450/分の頻回な異常電気が心房の中に入ってくることで、心房はほとんど痙攣しているように動かなくなります。その結果、心拍出量が低下し、心腔内圧が上昇し、動悸・倦怠感などの症状や心不全を来してしまいます。病期が進行すると、心房は伸展負荷を受け解剖学的・電氣的リモデリングが進み、異常発火がなくても心房細動が維持されてしまいます。これは「不整脈基質」の存在で起こり、その実は障害のある心房筋であり、心房細動を維持させるように働きます。このように心房細動が停止しにくくなった状態を持続性心房細動と呼び、7日以上持続する場合と定義されます。1年以上持続すると長期持続性心房細動と呼び、さらに停止しにくくなり治療にも抵抗性となります。心房細動の維持により心臓は少なからず負担はかかり心不全傾向となってきますが、その程度は人により様々です。心房細動患者のうち半数程度で症状が全くない、いわゆる無症候性心房細動の方がおられるといわれています<sup>2)</sup>。一概に心房細動と雖も症状にも様々な程度があり、また治療にも色々あり、どの患者にどの治療が最善かを考えるのが難しくなっています。カテーテルアブレーションによるRhythm controlの適応は、2011年の本邦のガイドラインによるとClass Iは基礎心疾患のない薬物治療抵抗性の症候性発作性心房細動、Class II aは薬物治療抵抗性の症候性発作性または持続性心房細動等とされています。近年、カテーテルアブレーションにより脳梗塞、心不全を減少させるという研究も出てきており、患者個々に合わせた治療を行うことも重要となってきています。

心房細動に対してカテーテルアブレーションによる治療がよく行われております。治療

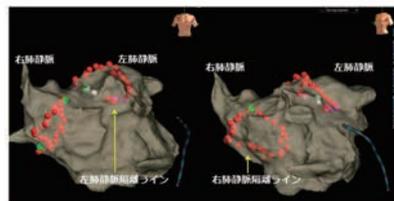


の内容は心房細動の「きっかけ」となるような異常発火を対象にしたもの、心房の障害箇所(不整脈基質)を対象にしたものに分けられます。最もよく行われている術式は拡大肺静脈隔離術であり、これは心房細動の「きっかけ」となる異常発火を心房の中に入れてこられないようにする治療です。不整脈基質に対するアブレーションは全例には施行せず、患者を選択して行われます。不整脈基質へのアブレーションを行うことでさらに別の不整脈(心房頻拍、心房粗動など)を起こしやすくなる場合がありますので、患者ごとの治療戦略が重要となってきます。

当院での心房細動カテーテルアブレーションはデクスメトミジン、チオペンタール、フェンタニルを使用し苦痛を感じないようしっかり鎮静鎮痛を行っております。また呼吸補助として非侵襲的陽圧換気を施行しております。3Dマッピングシステムを使用して心房の3D構築を行い、カテーテルの位置や焼灼部位を確認しながらアブレーションを施行しております。



当院のカテーテル室とカテーテルアブレーション時の配置



マッピングシステムにて3D構築された左房と左右肺静脈隔離ライン  
●焼灼ポイント、●隔離ポイント

不整脈専門外来を昨年2018年7月より第1・3・5週金曜開設しておりますが、今年2019年4月より毎週月曜となります。心房細動含め不整脈でお困りの症例がございましたら、是非ご紹介のほど宜しくお願い致します。

- 1) H Inoue, et al. Int J Cardiol 2009; 137: 102-107.
- 2) 健康日本 21 推進フォーラム.心房細動の実態調査と意識調査:報道用資料 2013;1-16.

# 専門特殊外来等担当医表

学会などの諸事情により代診、休診になる場合もあります。  
専門特殊外来は原則、予約(または一般外来の受診)が必要です。

診療科	月	火	水	木	金	土(第2・4は休診)				
内科	午前	大塚 章人 【糖尿病外来】	大塚 章人 【糖尿病外来】	田中 道弘 【予防接種外来】	村井 潤 【糖尿病外来】	大塚 章人 【糖尿病外来】	末廣 大知 【神経内科外来】	市原 紀久雄 佐藤 宏紀 【糖尿病外来】 【呼吸器外来】	.....	
	午後	辻尾 成人 【腎臓外来】	粕本 博臣 【腎臓外来】	久保 聡子 【糖尿病外来】	大塚 章人 【糖尿病外来】	粕本 博臣 【腎臓外来】	吉岡 潤哉 【呼吸器外来】	中村 正(第1・3・5) 大塚 章人(第2・4) 【禁煙外来】	長谷 善明 【腫瘍外来】	飯田 正人 【血液外来】
消化器内科	午前	前田 哲男	野村 祐介	前田 哲男	野村 祐介	西田 悠	.....	.....	.....	
総合診療科	午前	高井 研次	松田 守弘 9:00~11:00	.....	松田 守弘 9:00~11:00	高井 研次	.....	.....	.....	
循環器内科	午前	高橋 怜嗣 【不整脈外来】	担当医 【心臓血管外科外来】(注)	.....	.....	.....	.....	.....	.....	
	午後	.....	.....	(第1・3) 【ペースメーカー外来】	.....	.....	.....	.....	.....	
外科	午前	.....	谷野 裕一 【乳腺外来】	(第2・4) 【ストマ外来】 9:00~	.....	.....	.....	.....	木許 健生 (第1・3) 【乳腺外来】	
	午後	.....	.....	.....	.....	柴北 宗顕 【直腸肛門外来】 14:30~	.....	.....	.....	
整形外科	午前	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	戸祭 正喜 【スポーツ外来】	
耳鼻咽喉科	午後	.....	.....	.....	.....	(第1・3・4・5) 【補聴器外来】要外来受診	.....	.....	.....	
形成外科	午前	.....	.....	.....	.....	【フットケア外来】	.....	.....	.....	
	午後	.....	.....	.....	.....	【レーザー外来】 完全予約制	.....	.....	.....	

(注)心臓血管外科外来では、心臓弁膜症などの疾患に対する外科的治療について検討を行い、手術適応症例については大阪大学心臓血管外科(患者さんの希望によっては近隣病院)に紹介致します。

ご予約は地域医療連携室まで電話またはFAXにてお申し込み下さい。 電話 **078-511-3133** / FAX **078-511-3297**

## その他、各診療科にて力を注いでいる疾患・治療

(注)学会など諸事情により代診、休診になる場合もあります。  
あらかじめご了承ください。

標榜科	専門	医師名および診療曜日	標榜科	専門	医師名および診療曜日
内科	肥満、高脂血症、痛風	中村 正(月曜 午前/水曜 午前)	整形外科	小児全般	戸祭 正喜(月曜 午前)
	血液	飯田 正人(月曜 午前/水曜 午前/木曜 午前)		手全般	
	糖尿病	市原 紀久雄(月曜 午前)		スポーツ障害全般	
	消化器	多田 秀敏(火曜 午前/金曜 午前)		脊椎、関節	
循環器内科	冠動脈疾患	全医師が対応致します	耳鼻咽喉科	睡眠時無呼吸症候群	下屋 聡子 (月、水、木、金、土 午前) ※土曜日は第3・5のみ
	末梢動脈疾患			中耳炎	
	心不全			アレルギー性鼻炎	
	骨粗鬆症			副鼻腔炎	
外科 消化器外科	消化器癌の外科的治療 (近年は腹腔鏡手術に 力を入れております)	谷川 隆彦(月曜 午前/水曜 午前/金曜 午前)	扁桃炎	村上 英毅 (月、火、木、金 午前)	
		村上 雅一(火曜 午前)	声帯ポリープ		
		木村 聡宏(木曜 午前)	突発性難聴		
		星野 宏光(木曜 午前)	顔面神経麻痺		
新毛 豪(月曜 午前)	*手術内容に応じて変更になることがあります	顔面骨骨折	全医師が対応致します		
肝胆膵領域の悪性疾患	星野 宏光(木曜 午前)	皮膚・軟部組織損傷(全身)			
胆石症、虫垂炎、ソケイヘルニア などの外科的疾患	全医師が対応致します	瘢痕・瘢痕拘縮			
眼科	涙道手術	松場 眞弓 (火曜 午前/水曜 午前/金曜 午前)		眼瞼下垂症	
			下肢静脈瘤(潰瘍を伴う重度の症例も対応)		
			感染症		
			腫瘍(悪性、良性)		
			顎骨骨折		
			インプラントおよびインプラントのための骨再生		

ご予約は地域医療連携室まで電話またはFAXにてお申し込み下さい。 電話 **078-511-3133** / FAX **078-511-3297**

## 4月以降の内科外来(午後診)について

※専門特殊外来の診察には原則、予約が必要です。  
※各専門特殊外来の診察曜日は変更されることもあります。詳しくはホームページをご覧ください。

4月より内科外来の午後診を下記のように変更し、  
専門特殊外来のみの診察を行っております。なお、  
緊急症例につきましては、これまでどおり救急外来  
にて診察を行っておりますので、ご紹介時に緊急症  
例である旨を受付担当者にお伝えください。

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
内科外来 (午後)	辻尾 成人 【腎臓外来】 要予約	粕本 博臣 【腎臓外来】 要予約	粕本 博臣 【腎臓外来】 要予約	中村(第1・3・5) /大塚(第2・4) 【禁煙外来】	飯田 正人 【血液外来】 要予約
	-	久保 聡子 【糖尿病外来】 要予約	吉岡 潤哉 【呼吸器外来】	長谷 善明 【腫瘍外来】 要予約	-
	-	大塚 章人 【糖尿病外来】 要予約	-	-	-

## ゴールデンウィーク期間の診療について

4/30、5/1、5/2は一部診療科を除き診療いたします。

4/26(金)	診療	4/30(火・休)	診療※	5/4(土・祝)	休診
4/27(土)	休診	5/1(水・祝)	診療※	5/5(日・祝)	休診
4/28(日)	休診	5/2(木・休)	診療※	5/6(月・振)	休診
4/29(月・祝)	休診	5/3(金・祝)	休診	5/7(火)	診療

※4/30(火)心臓血管外科外来、  
乳腺外来、5/1(水)婦人科、  
5/2(木)腫瘍外来、直腸肛  
門外来、婦人科は休診です。

急患の方はこの限りではありません。休診期間に診察を希望される方は事前に電話(病院代表:078-511-3131)までお問い合わせください。

# 新入職医師のご紹介



予防医学部 部長  
た なか みち ひろ  
**田中 道弘**

## 専門分野

一般内科、消化器内科

## 一言メッセージ

4月から健診センターに勤務しております。年をとるにつれて体にいろいろな不調が出てきますが、健康診断や人間ドックで定期的にチェックをして、もし何か異常がみられても早期発見、早期治療で、いつまでも元気に（健康長寿）過ごして頂きたいと思っております。よろしくお願いいたします。



整形外科 医員  
みなみ ひろ き  
**南 弘樹**

## 専門分野

外傷

## 一言メッセージ

4月1日より整形外科医として勤務している南弘樹と申します。まだまだ一人前ではありませんが、ご迷惑のないよう努力して参ります。これからよろしくお願ひ致します。



外科 部長  
むら かみ たか し  
**村上 雅一**

## 専門分野

消化器外科（特に下部消化管領域）

## 一言メッセージ

2019年1月からお世話になっております村上雅一と申します。前任地は市立芦屋病院でした。下部消化管手術、特に腹腔鏡手術と大腸癌化学療法を中心に診療を行ってきました。専門領域にとらわれず、救急や他臓器、緩和等まで対応していきたいと思っています。地域と一体となった医療を目指していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



整形外科 医員  
さ と う し ゅ う た  
**佐藤 舟**

## 専門分野

整形外科一般

## 一言メッセージ

地域医療に貢献できるよう努力してまいります。ご指導、ご鞭撻賜りますようお願いいたします。



外科 医長  
しん け たか し  
**新毛 豪**

## 専門分野

外科

## 一言メッセージ

4月から勤務しております新毛豪です。地域の医療に貢献できるよう微力ながら努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



放射線科 副医長  
むら た ま お  
**村田 真央**

## 専門分野

画像診断一般

## 一言メッセージ

4月に新たに赴任いたしました。地域医療に貢献できるように努めてまいります。よろしくお願い致します。



整形外科 部長  
ほり の うち たか ぶみ  
**堀之内 豊**

## 専門分野

脊椎、関節

## 一言メッセージ

主に脊椎疾患を専門としておりますが、骨折をはじめ人工関節手術あるいは手術以外の保存的加療など整形外科医として皆様に提供できうる全ての力で診察に取り組んでまいります。



循環器内科 医員  
かわ い ひろ し  
**河合 弘幸**

## 専門分野

循環器内科一般

## 一言メッセージ

4月から勤務しております河合弘幸と申します。地域の皆様にベストな医療を提供できるように精進研鑽して参ります。よろしくお願い致します。



## 初期研修医

左から

やました みちなが  
**山下 道永**  
おむら りな  
**尾村 里奈**

よしだ しょうた ろう  
**吉田 翔太郎**  
やまぐち たかよし  
**山口 天慶**